

新たな総合計画素案に対する県民意見募集等の概要

1 実施期間

令和5年12月19日～令和6年1月17日

2 実施方法

- ・ 県民参加パンフレットの配架（県機関・市町村・高校・大学など）、イベント・会議等で配布
- ・ 県のたより、ホームページ、SNSで情報発信
- ・ 対話の広場で意見交換
- ・ 県内全市町村に対し、文書による意見照会を実施

3 意見数 ※1月5日時点

46件（うち県民40件、市町村6件）

(1) 性別・年代（回答があった方のみ）

男性	女性	合計
19	9	28件

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
3	3	4	4	3	11	0	0	28件

(2) 分野別の件数

分野	件数	分野	件数
子ども・若者・教育	7	共生・県民生活	6
健康・福祉	4	危機管理・くらしの安心	4
産業・労働	11	県土・まちづくり	5
環境・エネルギー	6	計画全般（その他）	3
合 計			46件

4 主な意見

※性別・年代は、回答があった方のみ記載

No	意見要旨
1	<p>【子ども・若者・教育】 人口を増やさなければならぬですが、子育てしやすい県、暮らしやすい県。 （女性・60代）</p>
2	<p>【子ども・若者・教育】 子育てには教育費の負担が大きい。親としては、子によりよい教育を受けさせたいと思うからこそ、私学受験させたい気持ちになる。これは、公立学校に期待できない裏返しではないか。公立でもトップを目指せるよう、優秀な教員になってほしい。 （男性・40代）</p>

No	意見要旨
3	<p>【健康・福祉】 高校生が2040年には30歳を超える年齢になるが、その時に、ヘルスリテラシーを習得し、自ら色々な情報を吟味、判断して健康、予防につながっていく社会が出来たらいい。</p>
4	<p>【健康・福祉】 医療現場の人手不足について、AIやデジタルサービスと協働する必要がある。</p>
5	<p>【産業・労働】 将来的に様々な行程を機械やロボットが行うことで人手不足が解消に向かってほしいです。</p>
6	<p>【産業・労働】 神奈川県は山あり海あり街ありで観光をPRしていけばいいのではないかと思います。 (女性・60代)</p>
7	<p>【環境・エネルギー】 脱炭素のための、省エネ技術、再エネ技術に期待しています。</p>
8	<p>【環境・エネルギー】 気候変動にとっても危機感を感じています。脱炭素は排出量を削減することと、排出されたCO₂を吸収することの両輪が必要なので、吸収量を増やすブルーカーボンはとても有効な手段だと思います。吸収量を増加することに加え、そもそも排出しない施策も重要だと考えています。</p>
9	<p>【共生・県民生活】 人権を尊重する社会がなにより大切だと思います。(女性・20代)</p>
10	<p>【共生・県民生活】 障害者への偏見や差別をなくし、誰もがその人らしく生きられる社会が望まれます。 (男性・10代以下)</p>
11	<p>【危機管理・くらしの安心】 首都圏の大規模地震に備え、ハード・ソフトともに備えておく必要がある。 (女性・10代以下)</p>
12	<p>【危機管理・くらしの安心】 能登半島地震は、甚大な被害をもたらしています。あらためて県民自身にも事前の備えを徹底させる必要があると思います。 (男性・30代)</p>
13	<p>【県土・まちづくり】 地震など災害時に備え、道路整備・補修をしっかりと行う必要がある。(男性・50代)</p>
14	<p>【県土・まちづくり】 大震災に備え、早期に新東名高速道路の全線開通をお願いします。(男性・20代)</p>
15	<p>【計画全般(その他)】 子供にも分かる内容にして、神奈川県により愛着をもってもらえると良いと思います。 (10代以下)</p>